



ナズレック NGO グローバルフォーラム会場にて。台湾の方々と重要なことは今後、各国や国際機関、および民間企業がいかに具体的な政策を実行に移すかだと思う。

世界の現実を見つめるとあきらめるわけにはいかない。できるところから行動を起こす以外ない。日本は温暖化対策を進め、他国の模範となるべきだ。

NGOの力もまた試されている。

参加した感想を一言でいえば、我々が直面している地球レベルの環境問題がいかに複雑で、非常に多くの課題を抱えていることを改めて浮き彫りにしたサミットだった。一農民としても、これからのあり方がみえてきたような気がしている。

最後に、3日の本会議場やロビーでの各国首脳の評価をご紹介したい。反グローバル化の視点からの発言が多い。

「京都議定書が残って良かった。これは、地球を守る我々の武器。それに批准しない先進国は理解できない」(メキシコ大統領)

「グローバル化は市場の失敗でもある。今後は、グローバルな炭素排出税の創設が必要。地球全体の税制を変えて、パラダイムシフトすることが肝要。軍

事費の大幅削減を促す文言も必要」(前コスタリカ大統領)

「現在の国際金融システムを規制するだけでは不十分。マイクロクレジットなど非営利金融を充実させることが必要。無制限の貿易自由化は限界に達した。自然にもう一度戻る、そんな哲学を案文に入れることが必要」(国連開発計画高官)

「新しい資本主義へ移行するためのパラダイムシフトが必要」(中央アメリカ機構代表)

「世界は平等にはできていない。力が平等でない国同士を平等に扱うWTOに国連を支配させてはいけない」(エクアドル大統領)

「非営利組織を育成することが持続可能な発展に欠かせない。そうした案文が少ない」(スーダン政府高官)

「グローバル経済を健全化するためにもグローバルなNGOが必要」(イスラエル政府高官)

「先住民やローカルな知恵で、新しいコンセプトを作り、平和、透明性、繁栄を築きたい。その面では案文に不満が残る」(グアテマラ政府高官)

おみやげプレゼント企画

三浦評議員からおみやげのエコバックを1名様にプレゼント！ご希望の方は10月18日(金)までに特集ページのご感想を明記の上はがきまたはメールでMELON情報センターまで。



会場で配られていたエコバック

ヨハネスブルグ・サミット報告会

9月10日(火)15:30よりフォレスト仙台において、MELONからの代表派遣者によるヨハネスブルグ・サミット報告会を開催致しました。前半日程で参加した南事務局員からはサミットの概要や会場の様子が、後半日程で参加した三浦評議員からは現地のデモ活動の様子や政府官僚の現地入りによる緊張感の高まりなどが伝えられました。最後には2人から今後の活動の提案(学習会等の開催、HPの英語化による発信、人事交流の促進)も出されました。

当日は、平日の昼間にも関わらず40人近い参加者があり、参加者からのアンケートでは「NGOとしてもっと強力に京都議定書発効のリーダーシップをとるよう政府に働きかけるべき」とか、「世界100ヶ国

以上の代表が集まったわりにはサミットの成果が物足りない」など、関心の高さをうかがわせる意見がたくさん出ました。

